8
August 2015
No.711

熊歯会報

Kumamoto Dental Association

熊本県歯科医師会

CONTENTS

- 巻頭言（副会長　小島 博文）…… 3
- 代議員会…… 4
- 理事会報告 …… 6
- 新役員…… 9
- 委員会紹介…… 13
- 航跡…… 20
- 委員会報告 …… 24
  （学術）
- 国保報告…… 26
- 郡市会報告 …… 27
  （阿蘇郡市、八代、宇土郡市、上益城郡、天草郡市、下益城郡、熊本市）
- つどい…… 31
- 新入会員…… 31
- 会務報告…… 32

― 歯科医師の倫理綱領 ―

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

公益社団法人 日本歯科医師会

表紙に寄せて

天草市道の駅 リップルランドに隣接した「四郎が浜ビーチ」です。美しい白砂の人工ビーチで水温は低めでしたが、家族連れが楽しそうに遊んでいました。

（H・K）

今、為すべき事

副会長　小　島　博　文

最近感銘を受けた本があります。江戸末期、大名と同格の格式をもつある旗本家が美濃から参勤交代で江戸に上る道中のお話です。主人公の御供頭は、父の急死により何一つ教えてもらわないうちに、若干19歳で江戸までの参勤交代を取り仕切ることになります。

この御供頭というのは、参勤交代の道中を取り仕切る責任者で、道中はお殿様以外どんなに偉い上司でもこの采配に従わなければならないというとんでもなく重要な役なのです。父親から全く教えを受けていない主人公は、事の重大さに死を覚悟するのです。そんな時奇跡なのかご先祖様のご加護なのか、一冊の古書と出会います。これが何と二百五十年ほど前の主人公のご先祖様が記した当時の参勤交代の模様を著した指南書だったのです。喜んだのも束の間、どうも現在のものはかなり形式的にも省略されている。しかしこの古書以外にすがるもののない主人公は古式にのっとり、いにしえの行列を復活させることを決心します。そしてこの何も省略されていない形式にのっとって行列を進めて行くうちに、お殿様をはじめ家中全員が本来の参勤交代の意味を理解し、いにしえの武士の精神に立ち返っていくというお話です。

無駄を省いていくという事は非常に大切なことだと考えております。いわんや、ネット環境が整備され、全世界の情報が怒涛のごとくしかも一瞬にして押し寄せる現代社会においてをやであります。大事なことは、それが何故無駄であるのかを徹底的に検証し論議しなければいけないということです。そして、もっと大事なことは、今なんとなく形式的に行なわれている事や理由が全く分からないまま続けられていることの意味を今一度検証しなおすことであると考えます。そしてその背景にあった創始者たちの精神を知り、これを現代に生かしていくことが肝要であります。例えば、歯と口の健康週間はどうでしょう。この事業は公式には昭和３年に日本歯科医師会が「ムシバ予防デー」として始めました。しかし驚くべきことに、大正８年にはすでに口腔検査や歯ブラシ訓練などの啓発活動を行っていたという記録がありますし、それ以前に、熊本市内の小学校児童の口腔検査が行われている記録もあります。まだむし歯の原因や歯周病という名前さえなかった（歯槽膿漏の概念はあったのかもしれませんが）時代に、我々の大先輩たちはいったい何を考えてこのような活動をしていたのでしょうか。おそらく歯科医師としてのプライドと、国民をむし歯から守りたいという燃えるような思いが、彼らを突き動かしていたのだろうと推察されます。

現在、がん患者及び回復期医科歯科連携事業をはじめとする様々な連携事業や在宅歯科診療の重要性も広く認識されてきております。しかし、残念ながら我々歯科医師側の体制が十分であるとはいえないのが現状です。いま我々が真摯に熊本県民ひいては国民のために尽くさなければ、歯科界に明るい未来はないと考えております。

今こそ歯科医師会会員が一丸となって、偉大な先輩方の熱い魂に思いを馳せ、その精神に立ち返る時ではないでしょうか。

最後になりましたが、今期も浦田執行部の副会長を仰せつかりました。またかと思われる方も多いかと存じますが、あと２年頑張らせていただきます。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

代議員会

全ての議案を承認可決

― 第１回臨時代議員会 ―

日　　時　平成27年７月18日（土）午後４時
場　　所　熊本県歯科医師会館４階大ホール
氏名点呼　代議員総数52名中全員出席

１．開会　副会長　小島博文
２．仮議長選出　宮本格尚（熊本市）
３．代議員会議長及び副議長選出
　議　長　宮本格尚（熊本市）
　副議長　玉置孝信（上益城郡）
４．議事録署名人指名
　秋山　清（熊本市）
　田中栄一（宇土郡市）
５．浦田会長挨拶要旨

本日は臨時代議員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。６月の定時代議員会で理事を選出いただいて、またその後の理事会で役員の役職、委員会委員を決定させていただきました。現在、歯科界は大きな問題を抱えており、これがどのように進んでいくか非常に心配なところであります。ただ心配してもどうすることも出来ませんので、我々は新しいメンバーで本会の運営に携わっていきますが、本会は熊本県に腰をしっかりと据えて事業を進めていき、今期この２年間頑張っていきますので先生方のご支援ご協力の程お願いいたします。また、地域医療介護総合確保基金に関する事業等の平成26年度、27年度、それから今後の方向性について時局対策のところで報告させて頂きたいと思いますので、先生方の様々なご意見をお聞かせください。今後我々は医科歯科連携をいかに進めていくか、そして県内の歯科医療の推進をいかに図っていくかが課題であります。本日は最後までよろしくお願いいたします。

６．退職役員・代議員会議長及び副議長、代議員への感謝状の贈呈
　浦田会長より当日出席の退職役員、代議員

会議長及び副議長、代議員へ感謝状が授与された。

７．役員紹介
８．報告
１）会計報告　　常務理事　八木 義博
２）監査報告　　監　　事　西野 隆一
９．議事
　第１号議案　裁定審議委員会委員の委嘱に関する件
（提案理由）一般社団法人熊本県歯科医師会諸会議及び委員会規程第22条第１項第２号により、裁定審議委員会委員を次のとおり委嘱することについての承認を求める。

裁定審議委員会
（任期：平成27年７月１日～平成29年６月30日）

氏　名	郡市名	氏　名	郡市名
若江　秀敏	水俣･芦北郡市	冨永　英俊	玉名郡市
元島　博信	熊　本　市	今藤　隆文	人　吉　市
千場　正昭	熊　本　市	片山　幸博	菊池郡市
福田　民男	八　　代	江藤　寛文	上益城郡

　裁定審議委員会委員の委嘱に関しては一般社団法人熊本県歯科医師会諸会議及び委員会規程第21条、第22条をご参照ください。

　第２号議案　選挙管理委員会委員、同予備委員の委嘱に関する件
（提案理由）一般社団法人熊本県歯科医師会選挙管理委員会規則第２条２項により、選挙管理委員会委員、同予備委員を次のとおり

委嘱することの承認を求める。

選挙管理委員会委員
（任期：平成27年７月１日
～平成29年６月30日）

氏　名	郡市名
杉尾健一郎	玉名郡市
三笘　　司	熊　本　市
山口　治利	菊池郡市
田中　弥興	熊　本　市
鶴田　善久	八　　代

同　予備委員
（任期：左同）

氏　名	郡市名
江藤　寛文	上益城郡
市原　誓志	阿蘇郡市
有田　俊昭	熊　本　市
中山　万弘	八　　代
瀬井　知己	熊　本　市

選挙管理委員会委員、同予備委員の委嘱に関しては、一般社団法人熊本県歯科医師会選挙管理委員会規則第２条、第３条をご参照ください。
第１号議案、第２号議案は承認可決された。

時局対策　協議１

宮坂副会長より地域医療介護総合確保基金に関する事業について説明があった。また、浦田会長より、次年度以降も継続する事業について、他県が単年度の予算しか確保されていないのに対して、本県のみ次年度以降の予算まで確保されているとの説明があった。

森口議員（天草郡市）

基金の医科歯科連携訪問歯科診療用機器整備事業について、各郡市に配備されるポータブルユニットの機種を県歯で決定するのではなく、各郡市で選択することができないか。

執行部回答

今後検討する。

時局対策　協議２

田上常務理事より後期高齢者歯科口腔健康診査事業について説明があり、また、現在全会員に依頼しているアンケートについては必ず回答してほしいとお願いがあった。

森議員（玉名郡市）

パソコン等の環境条件について、パソコンのOSがWindows７以降でないと歯科健診システム（ソフト）の使用ができないのか。

執行部回答

現時点ではそのとおりであるが、アンケートの結果を見て、環境条件を満たしていない歯科医院があまりにも多ければ、以前のOSでも対応できるように検討する。

古川議員（熊本市）

受診者の自己負担金をなくすことはできないか。

執行部回答

市町村が負担すれば可能であるので、各郡市と市町村との間で調整をお願いしたい。

高田議員（八代）

受診対象者は来院した患者か。

執行部回答

基本的には来院した患者のうち希望者に対して実施する。

宮川議員（菊池郡市）

健診が無料化された自治体があれば交渉で有利になるので、そういう事例が分かれば教えてほしい。

執行部回答

情報が入ればすぐに提供する。

武市議員（山鹿市）

健診を行政と協力して集団で行うことは可能か。

執行部回答

可能である。

時局対策　協議３

センター・介護担当の松本理事より、平成27年度在宅歯科医療推進事業及び介護者歯科実技研修事業について説明があった。

10. 閉会　副会長　中嶋敬介

（広報　岩崎晃司・永廣有伸）

理事会報告

役職や所管を正式に決定

― 第２回理事会 ―

７月１日（水）午後７時より県歯会館第１会議室において浦田会長他全役員出席のもと議長を浦田会長、議事録署名人を久々山・西野両監事、浦田会長として第２回理事会が開催された。

１．開会：渡辺理事
２．挨拶：浦田会長

６月20日に開催されました臨時代議員会におきまして、本日出席いただいている18名の理事と２名の監事の皆様が選任されました。また、当日開催されました臨時理事会において、私が代表理事として選任されました。これから２年間どうぞよろしくお願いいたします。

本日の理事会は２部構成で行います。第１部は、役員の先生の役職や所管等について決定する人事関係の内容です。その後新しく役員に就任された先生もいらっしゃいますので、歯科医師会の運営等についてご報告させていただきます。第２部は通常の理事会と同様で、懸案であります議題等を審議していただきます。本日は実質的には役員改選後最初の理事会となります。スムーズに進行ができますようご協力をお願いいたします。

３．理事の就任依頼
４．副会長の選定

小島博文理事、中嶋敬介理事、宮坂圭太理事を副会長に選定した。

５．専務理事の選定

渡辺賢治理事を専務理事に選定した。

６．常務理事の選定

田上大輔理事、八木義博理事、牛島隆理事を常務理事に選定した。

７．就任承諾書の受理
８．委嘱状の伝達
９．会長所信表明：浦田会長

今、委嘱状をお渡しして正式に所管や各担当をお願いしました。これから２年間よろしくお願いいたします。今期は新たに４名の先生に執行部に入っていただきました。前期は

15名と少ない人員で頑張っていただきましたが、現在、様々な事業が目白押しでありますので、人数を増員しました。万全の体制で事業に取り組んでいきたいと思いますので、ご協力の程よろしくお願いします。会報７月号にも所信ということで執筆させていただきましたけども、本会は現在、主に医療連携を進めており、この数年着実に実績を残していると手応えを感じています。これをますます確実なものにして、医療連携が熊本から発信できるようにしっかりと対応して参ります。役員の先生方はそれぞれの所管にこだわらずに、横の連携もしっかりと保ちながら、一丸となってチーム熊本として対応していただきたいと思います。役員歴が長い先生も一から気を引き締め直して執務していただくようお願いします。

ある本を読んでおりましたら、経営者がかかる５つの病気というのが書かれていました。経営者だけではなく、人間として把握しておかなければいけないと感じました。その５つの病気とは「甘え」、「うぬぼれ」、「驕り」、「慢心」、「マンネリ」です。人間は様々な場面でそういう病気にかかる可能性があり、常に５つの病気のどれかにかかっていないか自問自答しながら、行動していかなければなりません。本会の仕事だけではなく、自院での仕事でもそうですし、普段の生活においても自問自答しながら過ごす必要があります。私に５つの病気のどれかが見えたなら、いつで

もご指摘をいただきたいと思います。しっかりとしたチームワークを持った会にして行くために、私もまた一から2年間頑張って行きたいと思いますので、先生方のお力添えをいただきステップアップして行きたいと思いますので、どうかご協力をよろしくお願い申し上げます。

10．議長選出：浦田会長

11．議事録署名人：久々山監事、西野監事

12．議事：

①学院長・副学院長・教務部長の任命（熊本歯科衛生士専門学院）〔承認〕
学院長に伊藤明彦会員、副学院長に牧正仁会員と林昭宏会員、教務部長に弘中美貴子会員を任命することとした。

②口腔保健センター管理運営委員会委員長・副委員長の任命〔承認〕
委員長に松岡拓治会員、副委員長に松本信久理事を任命することとした。

③有限会社ケイ・デー・エム・ユーの取締役の選定〔承認〕
代表取締役に中嶋敬介副会長、取締役に八木義博常務理事を選定することとした。

④顧問及び嘱託（弁護士・公認会計士）の委嘱〔承認〕
顧問に堤直文元会長、嘱託に福岡聰一郎弁護士と吉永賢一郎公認会計士に委嘱することとした。

⑤社会保険労務士との契約〔承認〕
藤枝社会保険労務士と職員人事制度運用コンサルティングについて契約することとした。

13．会務運営報告：

①常務理事会・理事会・常任委員会の運営及び文書の取扱
②役員及び事務局の担当業務所管・組織図・緊急連絡網
③常任委員会委員の編成並びに委嘱状の伝達方法
④出張した場合の出張行程報告書及び役員報酬・退職金
⑤平成27年度熊本県歯科医師会事業計画
⑥年間行事予定
⑦事業企画、事業実績報告書、ヒヤリ・ホット事例報告書
⑧事務局連絡事項
⑨事務局及び担当業務

以上、今後の会務運営に必要な事項についてそれぞれ報告がなされた。

14．平成27年度会務報告：
（自：6月4日～至：6月28日）

本会総務：理事会、常務理事会、事業・会計監査、選挙管理委員会、定時代議員会（役員等選挙）、日歯定時代議員会、メディア㈱との打合せ
学　　術：バイタルサインセミナー
社会保険：保険集団的個別指導
地域保健：歯と口の健康週間「歯の祭典」
広　　報：会報編集・校正
学校歯科：サンスター㈱との打合せ
医療対策：各郡市医療相談担当者会
センター・介護：日本老年歯科医学会支部長会
総務・厚生・医療管理：県がん診療連携協議会相談支援・情報連携部会、がん連携事業、病診連携事業
学　　院：教務委員会
国保組合：臨時組合会

以上、各担当役員より報告がなされた。

15．報告事項：

1．地域包括ケアシステム
熊本機能病院の米満総院長より、学会で発表する地域包括ケアシステムの体系図に‘歯科医療’の文言を含めてよいかどうかの了承を求められたので、快諾した。

2．サンスター作成ポスター・歯間ブラシの配布
7月6日全会員発送時に同封する。

3．後期高齢者歯科口腔健康診査事業に係るアンケート
次年度より実施する事業の準備として、歯科健診システム（ソフト）を開発するにあたり、会員のパソコン等環境を把握するためのアンケートを7月6日の全会員発送時に同封して調査する。

4．平成27年度新入会研修会の開催日程
平成28年2月6日(土）に県歯会館に

おいて開催する。

5．熊本県学校保健会協力寄付金

役員は3口以上寄付する。常任委員会委員にも寄付の呼びかけを行う。

6．その他

○中嶋副会長より、広報あまくさに医科の先生が執筆された糖尿病と歯周病の関係についての記事の紹介があった。

○浦田会長より、最近、県内各地域において医科の方から歯科に対して連携を呼びかける動きがあっているので、積極的に対応して欲しいとの話があった。

16．連絡事項：

1．7・8月行事予定

17．承認事項：

1．名義後援使用依頼〔承認〕

・禁煙支援＆禁煙外来のための特別講演会／熊本市民病院

・第2回熊本在宅医科歯科連携学術講演会／昭和薬品㈱

・平成27年度黄色い羽根募金運動／（公財）熊本県移植医療推進財団

2．関係機関・団体からの役員等の推薦依頼〔承認〕

・熊本県医療安全推進協議会委員／熊本県医療政策課

渡辺　賢治　専務理事　任期：平成27年4月1日～平成29年3月31日

3．役員交代挨拶状〔承認〕

全会員及び関係機関へ送付することとした。

4．県議会議員との懇談会の出席者〔承認〕

本会と連盟の方からは15名出席することとした。

5．平成27年度国・県の委託事業担当者及び窓口対応者〔承認〕

原案どおり承認した。

6．病診連携事業に係る担当職員の業務範囲〔承認〕

原案どおり承認した。なお、支障等が出てくれば再度調整することとした。

18．議題：

1．退職役員、代議員会議長・副議長、代議員の表彰者〔承認〕

原案どおり承認した。なお、7月18日開催の臨時代議員会で表彰する。

2．平成27年度第1回臨時代議員会の運営〔承認〕

原案どおり承認した。なお、来賓はいないが、蒲島県知事からの祝電披露を行う。

さらに終了後には、日本財団よりTOOTH FAIRY事業の報告が行われる。

3．平成27年度早産予防対策事業〔承認〕

熊大産科婦人科からの依頼により、提示条件に合う歯科医療機関を推薦し、本事業の実施に協力することとした。

4．平成27年度「歯科医療関係者感染症予防講習会」の熊本開催〔承認〕

日歯からの開催依頼を承諾し、12月5日（土）午後4時より県歯会館において開催することとした。

5．第39回（平成28年度）むし歯予防全国大会の開催依頼〔保留〕

本県での開催を受諾する方向ではあるが、本会がどこまで関与するのか情報を集めて、次回理事会で再度協議することとした。

6．障がい者歯科診療対応施設一覧〔承認〕

実施したアンケートで受入可能と回答のあった歯科医院のリストを中心にもう一度精査してから、行政等に提示することとした。

7．その他

○各郡市への「フッ化物洗口Q＆A」の送付〔承認〕

フッ化物洗口に係る説明会で回答に苦慮するような質問が出ているので、各郡市会長・専務理事に「フッ化物洗口Q＆A」を送付し、各郡市の学校歯科医に周知を依頼することとした。

19．協議事項：

1．大久保前日歯会長・村上前日歯専務理事の講演会

開催することとし、日程を調整することとした。

2．阿蘇医療センターからの口腔外科開設に伴う協力依頼

地域医療介護総合確保基金事業を活用できないか検討することとした。

20．監事講評

21．閉会：渡辺専務理事

（広報　竹下　憲治）

熊本県歯科医師会役員

会　長
浦田　健二
（宇土郡市）

副会長
小島　博文
（熊本市）

医療対策
センター・介護
警察歯科医会

副会長
中嶋　敬介
（天草郡市）

社会保険
ケイ・デー・
エム・ユー

副会長
宮坂　圭太
（山鹿市）

地域保健
学校歯科
学校及び高等
学校保健会

専務理事
渡辺　賢治
（下益城郡）

総括

常務理事
田上　大輔
（阿蘇郡市）

地域保健
センター・介護

常務理事
八木　義博
（宇土郡市）

会計
財産管理
広報

常務理事
牛島　　隆
（熊本市）

学術
厚生・医療管理
総務・医療連携
災害対策
警察歯科医会

理　事
冨屋　栄祐
（下益城郡）

医療対策

理　事
大林　裕明
（玉名郡市）

学校歯科

理　事
松本　信久
（天草郡市）

センター・介護

理　事
竹下　憲治
（熊本市）

広報

理　事
宮井　　祐
（八代）

厚生・医療管理

理　事
赤尾　浩彦
（阿蘇郡市）

地域保健

理　事
井上　裕邦
（八代）

学術

理　事
田中　文丸
（荒尾市）

社会保険

理　事
椿　　誠
（熊本市）

社会保険

理　事
宇治　信博
（阿蘇郡市）

総務・医療連携

監　事

監　事
久々山芳文
（天草郡市）

監　事
西野　隆一
（熊本市）

熊本県歯科医師会
役員一覧表

任期：平成27年6月20日～平成29年6月定時代議員会終結時

役職名	氏　名	所属郡市
会長	浦田健二	宇土郡市
副会長	小島博文	熊本市
副会長	中嶋敬介	天草郡市
副会長	宮坂圭太	山鹿市
専務理事	渡辺賢治	下益城郡
常務理事	田上大輔	阿蘇郡市
常務理事	八木義博	宇土郡市
常務理事	牛島　隆	熊本市
理事（医療対策）	冨屋栄祐	下益城郡
理事（学校歯科）	大林裕明	玉名郡市
理事（センター・介護）	松本信久	天草郡市
理事（広報）	竹下憲治	熊本市
理事（厚生・医療管理）	宮井　祐	八代
理事（学術）	井上裕邦	八代
理事（社会保険）	田中文丸	荒尾市
理事（社会保険）	椿　誠	熊本市
理事（総務・医療連携）	宇治信博	阿蘇郡市
監事	久々山芳文	天草郡市
監事	西野隆一	熊本市

顧　問

任期：平成27年6月20日～平成29年6月定時代議員会終結時

役　職	氏　名	所属郡市
顧問	堤　直　文	熊　本　市

裁定審議委員会委員

任期　平成27年7月1日～平成29年6月30日

氏　名	郡市名
若江秀敏	水俣・芦北郡市
元島博信	熊本市
千場正昭	熊本市
福田民男	八代
冨永英俊	玉名郡市
今藤隆文	人吉市
片山幸博	菊池郡市
江藤寛文	上益城郡

選挙管理委員会委員

任期　平成27年7月1日～平成29年6月30日

氏　名	郡市名
杉尾健一郎	玉名郡市
三笘　司	熊本市
山口治利	菊池郡市
田中弥興	熊本市
鶴田善久	八代

同　予備委員

任期　平成27年7月1日～平成29年6月30日

氏　名	郡市名
江藤寛文	上益城郡
市原誓志	阿蘇郡市
有田俊昭	熊本市
中山万弘	八代
瀬井知己	熊本市

熊本歯科衛生士専門学院役員

任期　平成27年7月1日～平成29年6月30日

役職名	氏　名	所属郡市
学院長	伊藤明彦	菊池郡市
副学院長	牧　正仁	熊本市
副学院長	林　昭宏	熊本市
教務部長	弘中美貴子	－

熊本県歯科医師国民健康保険組合役員

任期　平成27年7月1日～平成29年6月30日

役職名	氏　名	所属郡市
理事長	浦田健二	宇土郡市
副理事長 法令遵守担当理事	上野亮一	八代
常務理事	桑田和明	阿蘇郡市
理事	守永純一	八代
理事	瀬井知己	熊本市
監事	原田秀一郎	菊池郡市
監事	片山公則	阿蘇郡市

熊本県歯科医師会代議員

任期　平成27年7月1日～平成29年6月30日

氏　名	所属郡市	氏　名	所属郡市
髙松尚史	熊本市	田中正	荒尾市
嶋田英敏	熊本市	神山久志	山鹿市
秋山清	熊本市	武市功雄	山鹿市
田ノ上輝	熊本市	宮川俊弥	菊池郡市
有働秀一	熊本市	髙木公康	菊池郡市
大塚昭彦	熊本市	城敦哉	菊池郡市
谷口守昭	熊本市	田中弥信	菊池郡市
吉﨑久次	熊本市	武藤健史	阿蘇郡市
井野健	熊本市	佐藤俊一郎	阿蘇郡市
七川洋二	熊本市	玉置孝信	上益城郡
堀田浩史	熊本市	清村龍朗	上益城郡
渡辺猛士	熊本市	吉永修	下益城郡
渡辺洋	熊本市	長濱宗一郎	下益城郡
田中利明	熊本市	水上正太	八代
林昭宏	熊本市	守永純一	八代
古川猛士	熊本市	高田博樹	八代
中原孝	熊本市	山口透	八代
萱野至仁	熊本市	藤崎圭一	水俣・芦北
宮本格尚	熊本市	永田英樹	水俣・芦北
松田惠	熊本市	與田桂三	人吉市
田中栄一	宇土郡市	愛甲徹	人吉市
森義和	宇土郡市	塚本卓也	球磨郡
森隆文	玉名郡市	向江富士夫	球磨郡
髙﨑稔	玉名郡市	山本源治	天草郡市
犬束美尚	玉名郡市	森口茂樹	天草郡市
山本宏	荒尾市	布井隆行	天草郡市

各郡市歯科医師会会長

任期　約2年間（郡市により始期終期が異なる）

氏　名	所属郡市	氏　名	所属郡市
宮本格尚	熊本市	玉置孝信	上益城郡
田中栄一	宇土郡市	吉永修	下益城郡
森隆文	玉名郡市	水上正太	八代
山本宏	荒尾市	藤崎圭一	水俣・芦北郡市
神山久志	山鹿市	與田桂三	人吉市
宮川俊弥	菊池郡市	塚本卓也	球磨郡
武藤健史	阿蘇郡市	山本源治	天草郡市

委員会紹介

医療対策委員会（理事　冨屋　栄祐）

理事の抱負

医療対策委員会は、一般社団法人熊本県歯科医師会医療事故処理規定により、会員の先生方の医療行為中に発生した事故の事後処理と医事紛争への進展を予防する事を目的とすると規定された委員会であります。

当委員会の委員一同は、「事例０」を目標に活動を続けております。確かに医療事故につきましては、不可抗力の側面が大きく防ぎようのない場合もあります。しかし、細心の注意を払い、確認につぐ確認を徹底する事により最小限にすることは可能であると思われます。また、歯科医師の責務に伴う説明義務の履行、療養の義務、高次病院への紹介・搬送義務等、また、保険医療養担当規則にもうたわれ歯科医師として常識的な「患者に対する懇切丁寧な説明と治療」を行う事で、現在発生している苦情事例の85%は、統計上根絶可能であると思われます。

昨今増え続けているクレーマー的な訴えについても、その一部は、患者と歯科医師の意思の疎通が出来ていないことが出発点になっているものもあります。

今期の委員会活動の大きな目標の重点として、上記の事柄を会員の先生方にご認識頂き、事例数の大幅削減を実現したいと考えております。会員の先生方におかれましては、ニュースレターの事例集に必ず目を通していただき、患者の生の声を感じて頂きたいと存じます。

会員の先生方の為の委員会ではございますが、会員全体の為に何が有意義な事であるのかを大局的にとらえ、「是は是、非は非」という大前提の下で委員会活動の指針となしていきたいと考えております。

発生した紛争事例の速やかな解決には、当事者の会員の先生の解決へ向けての積極的なご協力が不可欠です。

会員の先生方のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

― 平成27年度事業計画 ―

1．医療事故、苦情への対応と処理
2．安心・安全歯科医療推進制度の運営
3．医療事故トラブル予防対策講演会開催
4．関係諸機関との連携、協議
5．各郡市歯科医師会医療相談苦情対応の後方支援
6．医療安全管理の推進
7．九州各県担当者会の開催

役　職	氏　名	所属郡市
委員長	岡田　長久	八　代
副委員長	永松　聖隆	熊本市
委　員	原田秀一郎	菊池郡市
	犬束　美尚	玉名郡市
	徳丸　恵介	熊本市
	我那覇生純	阿蘇郡市
	町田宗一郎	熊本市
	椿　賢	熊本市
	五島　嘉人	熊本市

社会保険委員会（理事　田中　文丸・椿　誠）

理事の抱負（田中理事）

前期に引き続き、社会保険担当を拝命しました田中文丸です。この２年間、「会員の為の社保委員会」を掲げ委員会運営をしてきました。また、九州厚生局や支払基金・国保連合会に対しても相互意見の交換をし、一方的な解釈は是正するように努力してきました。その結果は出てきたと自負しています。これからの２年は、さらに会員の生活に役立為に、会員の平均点数アップではなく総点数アップに繋がる様に頑張っていく所存です。

理事の抱負（椿理事）

皆様こんにちは、今期も社保担当理事を任命されました椿です。前期は社保委員会の事はほとんど何もわからずに学術委員会からの鞍替えで正直何をやればいいのか戸惑いながら、とにかく自分に出来る事は何かを考え、中嶋副会長・田中理事・社保委員会の皆さんに支えられながらのあっと言う間の２年間でした。今期はもっと積極的に県民、会員の先生方の為になる事を見つけ小さな事からコツコツと消化していこうと思います。医療費は年々右肩上がりに増加していく中で歯科に与えられた割合は6.9%と年々減少している。我々が今後進む方向性はどこに向かっていけばいいのでしょうか？そろそろ皆さんと考えなければならない時期に来ているように思います。是非会員の先生方のご意見をお聞かせください。

― 平成27年度事業計画 ―

１．会員への情報提供・指導対応・研修会等の開催

〇情報提供

・会員への情報提供
　社会保険Book等の発行　月１回

・保険請求110番の推進
　社保委員会への質問の対応

〇指導対応

・個別指導（共同指導を含む）対象医療機関への説明会の開催　年１回

・社保個別相談会の開催
　指導対象医療機関との個別相談
　随時
　　場所：県歯科医師会館、
　　現地医療機関

・レセプトチェックセンター　月１回

・個別指導立会への参加　随時
　年35回程度　延べ概ね70医療機関

・集団的個別指導の立会　年１回

〇研修会

・新入会員研修会の開催　年１回

・社保研修会の開催　年１回

・シニア倶楽部社保研修会の開催
　年１回

２．各歯科医師会との連絡・協議

・各郡市社保担当者会議の開催

・各郡市社保説明会の開催

・九州各県社保担当者会議参加　長崎

・近県社保担当者会議参加　香川

・都道府県担当者会議参加　東京

・日歯主催研修会参加
　社保指導者研修会　　東京

３．関係諸機関との連絡・協議

・支払基金及び国保連合会の全審査員との合同研修会　年１回

・国保連合会　年１回

・九州厚生局熊本事務所との打合せ　年４回

４．点数改定説明会の開催
九州厚生局熊本事務所と共同開催

役　職	氏　名	所属郡市
委員長	清水　雅英	人吉市
副委員長	桐野　美孝	玉名郡市
	橋本　英樹	山鹿市
	野田　和宏	上益城郡
委　員	宇治　寿隆	熊本市
	渡辺　　洋	熊本市
	反後　雅博	熊本市
	金本　良久	熊本市
	井口　泰治	熊本市
	舩津　雅彦	熊本市
	伊藤　　守	菊池郡市
	園田　隆弘	阿蘇郡市
	小林　裕介	天草郡市
	今﨑　佳昭	八　代

地域保健委員会（理事　赤尾　浩彦）

理事の抱負

本委員会は、“地域歯科保健医療の啓発活動”と“地域に潜在する歯科保健医療の顕在化と歯科医療のパイを拡大する”を合言葉に活動を続けております。

前期より、引き続き①早産予防対策事業②糖尿病・歯周病対策事業③標準的な“成人歯科健診”の３つの切り口から事業を展開しております。

①に関しては、昨年全県下で会員の皆様には大変お世話になり、かなりの成果が出ております。そして、今年度も引き続き事業の継続をしております。

②に関しては、これまでの活動で事業展開に必要な各種帳票の整備が終わり、今年度は天草郡市の会員の先生方のご協力を得て、事業を展開しております。

③に関しては、昨年より協会けんぽからのご協力の下、事業健診を行っており今年度は事業を拡大していく予定です。

さらに、今年度からは“後期高齢者の歯科健診事業”について、新たに動き始めました。一方、会員の皆様に向けては、“いきいき通信”を発行してその時の応じた歯科にまつわる様々な記事をお知らせいたします。

これらの事業は歯科医療需要を開拓すると同時に、結果的に総合医療費を抑制することとなります。また、各関係機関と連携することにより、国が進める医科歯科連携の推進にも一役を担っております。さらに、地域からの医療流出を防ぎ、患者の生活圏の中で地域完結型の保健・医療・福祉を推進する点でも公益性が担保されていると自負しています。

これからの２年間、会員の皆様のご理解とご協力の程、よろしく申し上げます。

―平成27年度事業計画―

１．８０２０達成事業の推進
- 各種関連団体との連携協力
- ８０２０運動推進特別事業（委託事業）への対応
- 会員に対する地域歯科保健関連情報の提供
- 各種イベントにおける歯科保健普及啓発部門への協力

２．医療制度改革への対応
- 地域医療介護総合確保基金（新財政支援制度）への対応
- 特定健診・特定保健指導への対応
- 地域・職域連携推進協議会、保険者協議会への対応
- 健康増進法歯周疾患検診への対応
- 標準的成人歯科健診（生活歯援）プログラムの活用

３．熊本県健康増進計画関連事業の推進
- くまもと21ヘルスプラン推進委員会
- 熊本県歯科保健推進会議およびワーキング部会

４．産業歯科保健活動の推進
- 事業所健診の実施等

５．各郡市地域歯科保健活動との連携推進強化
- 各郡市歯科医師会地域保健担当者会議の実施と充実
- 各郡市歯科医師会間の連携と情報の共有

６．熊本県歯及び口腔の健康づくり推進条例への対応
- 歯及び口腔の健康づくりに対応した歯科受診勧奨システムの構築
- 乳幼児期及び学齢期におけるフッ化物応用の推進

役　職	氏　名	所属郡市
委員長	二宮　健郎	熊本市
副委員長	宮本名留彦	八代
委員	小田　哲也	天草郡市
	髙水間　奨	山鹿市
	郷原賢次郎	菊池郡市
	蔵本　茂禎	荒尾市
	伊藤　延隆	水俣・芦北
	志方　圭介	上益城郡

広報委員会（理事　竹下　憲治）

理事の抱負

平素より委員会だより、郡市会だよりなど会報作成にご協力頂き感謝申し上げます。

７月より広報委員会を担当させていただき、責任の重さを感じております。

私は以前、厚生・管理委員会を３期担当させて頂いておりました。広報委員会では会員に対しては熊歯会報とニュースレターを使い分けし、皆様にもっと読んで頂けるように内容の充実に努めたいと思います。

県民に対する対外ＰＲは重要であり、歯科医師会の活動をいかに伝えるのか考えて行きたいと思います。歯科医院にとって経営環境は益々厳しい状況になっておりますが、各医院が行う広告・宣伝とは違います。広報委員会では安定した歯科医院経営のためにも広報活動を通して歯の大切さを認識して頂き、一人でも多くの患者さんが会員診療所に足を運んで頂けるように尽力したいと思います。さらに各委員会と連携して充実した企画を立案したいと考えております。

委員会一丸となり頑張っていきたいと思いますのでどうぞよろしくお願いします。

―平成27年度事業計画―

１．熊歯会報の発行
　⑴　記事のリアルタイムな掲載による会員への迅速な情報伝達
　⑵　会報のメール配信による一部ペーパーレス化を引続き検討
　　・一部では経費削減にあまり繋がらないことやメール配信では会報がますます読まれなくなる事も十分考慮

２．発行物の見直しと検討
　⑴　発送物のペーパーレス化に伴うデメリット解消のための会報の掲載内容の工夫
　⑵　会報作成の新しい手法の検討
　　・委員会前に委員へ原稿をメールで送り、各自が校正後に委員会を開催など作成（現在試験的に実施）のための新しい手順を模索
　　・原稿が締切日前までに集まらないことへの対策（早めの原稿依頼）
　⑶　会報発送先、発送方法のさらなる見直し
　　・データーで送っても問題ないところは冊子ではなくデーターで配信

３．ニュースレターの発行
　⑴　今後のペーパーレス化に対応した掲載内容の見直し

４．ホームページの管理
　⑴　対外ＰＲとして県民向けの内容の充実
　⑵　リアルタイムなトップページの内容変更
　⑶　会員専用ページのさらなる充実とアクセス数の増加、利便性の追求

５．対外的な広報活動の推進
　⑴　対外ＰＲとして、ＨＰの効果的活用
　⑵　県民啓発のためのテレビの効果的利用、放送内容の検討（テレメッセ等）
　⑶　出演を依頼された場合のテレビ・ラジオ番組への積極的出演
　⑷　費用をかけない対外広報活動の模索

６．８０２０支援事業の推進
　⑴　広報活動による支援

７．情報の整理、管理、保管
　⑴　メールニュースの効果的活用を検討
　⑵　緊急連絡網の整備、全会員に近い登録数とすることを目標

役　職	氏　名	所属郡市
委員長	岩崎　晃司	八　代
副委員長	永廣　有伸	玉名郡市
委　員	秋山　清	熊本市
	髙崎真由美	熊本市
	八木　俊晃	熊本市
	緒方　秀則	熊本市

学術委員会（理事　井上　裕邦）

理事の抱負

前期より引き続き学術担当理事をさせて頂くことになりました井上です。

前期より継続してまいりました「Back to the Basic」は基本的な医療の再認識と最新医療のトピックスと合わせて会員皆様へ学術情報を提供してまいりたいと思っております。

日歯生涯研修事業への対応をさらに充実させ、医科との学術連携推進、他委員会とも連携し多くの先生に認定証の取得支援をしてまいります。

また実技を取り入れた有料講演会を企画し会員先生方の知識とスキルアップをお手伝いできればと考えております。

２年間よろしくお願いいたします。

―平成27年度事業計画―

１．学術研修「Back to the Basic」推進事業
　⑴　熊本県歯科医学大会の開催
　⑵　メーカータイアップによる講演会の開催
２．生涯研修事業への対応・会員支援
　⑴　日歯生涯研修ＤＶＤセミナーの開催
　⑵　会員発表会の開催（能動的研修推進）
　⑶　認定証取得の推進、安心・安全歯科医療推進制度基準達成の推進
３．先進歯科医療の情報収集及び提供
　⑴　先進歯科医療に関する情報の提供
　⑵　歯科医師スキルアップ有料セミナーの開催
４．安心・安全歯科医療推進制度に係る講演会（救急救命等）の開催
５．医科との学術連携推進
　⑴　医療保健福祉連携学会への参加
　⑵　院内感染研究会への参加
　⑶　へき地保健医療対策に関する協議会への出席
６．他委員会との合同研修会の開催
７．各郡市歯科医師会、スタディグループ、九州各県歯科医師会との学術連携推進
８．診療・経営支援に役立つ情報等の提供
　⑴　会報学術レポート、ワンポイント学術情報等の提供

役　職	氏　名	所属郡市
委員長	堀川　正	熊本市
副委員長	片山　晃紀	熊本市
委　員	清水　幹広	熊本市
	園木　誠	菊池郡市
	馬場　一英	荒尾市
	内野　玲	上益城郡
	壽永　旭博	天草郡市

学校歯科委員会（理事　大林　裕明）

理事の抱負

今期で４度目の学校歯科担当理事を務めさせて頂く大林です。浦田執行部にお仕えして早6年、右も左も分からぬまま、只ひたすら走り続けて来た様にも思います。委員会も新しい委員をお迎えして、若返りとパワーをアップしました。まだまだ続く「フッ化物洗口」の茨の道を中心に学校歯科の為に全身全霊取り組んでいく所存です。会員の先生方の御指導御鞭撻を宜しくお願いいたします。又学校保健会への寄付や、研修事業も執り行いますので宜しくお願いいたします。

―平成27年度事業計画―

１．学校歯科保健活動の推進
　医師会、薬剤師会、歯科衛生士会、栄養士会、養護教諭研究会、学校関係、行政関係他との連携
２．むし歯予防対策事業の推進
　むし歯予防対策事業（歯及び口腔の健康

づくり指導）
—フッ化物洗口事業における協力と推奨—
3．８０２０支援事業の推進
各郡市歯科医師会学校歯科担当者会議の開催
（学校歯科検診についての見直しなど）
4．学校歯科保健推進大会の開催（学校歯科医研修会）
5．学校歯科における食育の関係調査
各地区で行われている食育事業
6．歯と口の健康週間事業への協力
図画・ポスター　標語の審査

役　職	氏　名	所属郡市
委員長	河原　正明	山鹿市
副委員長	田畑　祐亮	荒尾市
委　員	宮﨑　修一	八代
	石井　洋一	上益城郡
	髙田　宗秀	菊池郡市
	勇　雅大	熊本市
	上野　啓之	熊本市

センター・介護委員会（理事　松本　信久）

理事の抱負

一般開業医において、どちらかというと不慣れな分野になります介護や障害者歯科を担当します。県歯の情報を細かく会員の皆様に届けていただくためにできるだけ各郡市の先生に委員として参加していただきました。現在、医療と介護の分野では多職種との連携が必要となっています。熊本県からの委託事業を有効に活用し、会員及び県民の皆様に貢献できるように２年間活動していきたいと思います。

— 平成27年度事業計画 —

1．障がい児（者）歯科診療（口腔センター）の運営
2．障がい児（者）関連医療機関等との連携、協力
3．障がい児（者）の保護者会での講話及び実技指導の実施
4．障がい児（者）、要介護者歯科診療研修会の実施
5．在宅歯科診療への取り組み
6．摂食・嚥下研修会の実施
7．高齢者福祉医療関連の情報収集と発信
8．介護保険への対応
9．高齢者施設での健診事業の実施

役　職	氏　名	所属郡市
委員長	平井　淳也	山鹿市
副委員長	規工川　浩	玉名郡市
委　員	今藤ひとみ	人吉市
	松岡　拓治	菊池郡市
	井手　裕二	熊本市
	溝口　貴志	八代
	本田壮一郎	熊本市
	太田　宜彦	上益城郡

厚生・医療管理委員会（理事　宮井　祐）

理事の抱負

総務･厚生･医療管理委員会が、今回新たに総務・医療連携委員会と厚生･医療管理委員会に分かれました。その厚生･医療管理委員会の担当理事に就任いたしました宮井です。ロートルですが、新人です。宜しくお願い致します。

今までは、総務、厚生、医療管理と内容が多岐にわたっており、医療管理部門が手薄になりがちでしたが、今回分離したことにより、じっくりと取り組める環境が整いました。今後は、マーズ等の新たな感染症に対する院内感染予防マニュアル、安心安全に根差した院内環境の整備、スタッフ教育等の問題に力を入れて取り組んでいきます。

また、月１回発行の「医療管理だより」のさらなる充実も図ります。

会員の皆様の御助力、ご理解をよろしくお

願い致します。

― 平成27年度厚生・医療管理関係事業計画 ―

1．会員健康管理の充実
2．高齢会員慶祝行事の実施
3．厚生関係情報の収集と会員への伝達
4．関係諸機関との連絡、協議
5．代診派遣制度に関する事項
6．共済互助に関する諸問題の検討と対策
7．医療従事者研修会開催
8．歯科衛生士の就職に関する事項
　⑴　歯科衛生士就職説明会の開催
　⑵　リカバリー研修に関する検討
9．医療管理関係情報の収集と会員への伝達
10. 医療管理関係講演会の開催
11. 医院経営・税務・労務に関する諸問題の検討と対策
12. 日本歯科医療管理学会に関する事項
13. 熊本国税局管内税務指導者協議会の開催

役　職	氏　　名	所属郡市
委員長	工藤　智明	上益城郡
副委員長	池嶋　由希	熊本市
委　員	町田由美子	熊本市
	坂田　輝之	荒尾市
	小林　　聡	山鹿市
	牧　　潤一	熊本市

総務・医療連携委員会 （理事　宇治　信博）

理事の抱負

今期総務・医療連携委員会の理事を拝命しました宇治　信博です。

本会総務と委託事業であるがん連携、回復期連携事業を中心とした医療連携を担当させていただきます。

私のテーマは「**連携**」です。

「**連携**」とは、連絡を密に取り合って、一つの目的のために一緒に物事をすること。

多くの方々と連絡を密に取り合って、熊本県における医療連携向上のために役員、委員の先生方と一緒に頑張ります。会員皆様のご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

― 平成27年度総務・医療連携関係事業計画 ―

1．総務の事業計画に関する事項
　⑴　未入会対策の促進
　⑵　新入会員等研修会の開催
　⑶　各郡市歯科医師会との連携の充実
　⑷　５つの基本方針の推進を検証
2．経理に関する事項
　⑴　予算管理及び決算
　⑵　財産の管理
　⑶　会費及び負担金の納入
3．渉外及び行政との交渉に関する事項
　⑴　県行政及び県議会議員との懇談会
4．職員及び会館・備品に関する事項
　⑴　物品の発注、購入
　⑵　図書管理
　⑶　職員の労務、福利厚生
　⑷　職員の出張・研修
　⑸　職員の事務能率・改善
　⑹　職員の昇給、昇格、人事考課
5．調査・ＩＴに関する事項
　⑴　日歯情報管理関連
　⑵　ペーパレス化プロジェクト
6．会員に関する事項
　⑴　会員名簿作成
7．がん患者医科歯科医療連携事業に関する事項
　⑴　がん医科歯科連携事業の運営
　⑵　関連病院との連携
　⑶　がん連携に関する研修会の実施
　⑷　事業内容に関する広報
8．回復期病院との連携に関する事項
　⑴　回復期病診療連携事業の運営
　⑵　関連病院との連携
　⑶　病診連携に関する研修会の実施
　⑷　事業内容に関する広報
9．医療・保健・福祉連携学会への参加
10. 感染管理研究会、感染管理ネットワークへの参加
11. あらたな医療連携体制の構築
12. 医師会との医科歯科連携協議に関する事項

役　職	氏　　名	所属郡市
委員長	三森　康弘	阿蘇郡市
副委員長	神﨑　理子	熊本市
委　員	三隅　賢祐	熊本市
	片山　泰紀	熊本市
	近藤　俊輔	宇土郡市
	福田　勇人	熊本市

航跡　～熊本県歯科医師会の歩み　その５（昭和期）～

第２章　歯科医療界の変遷

第３節　口腔衛生思想普及啓発の時

⑴　日本歯科医師会では

大正９年より全国各地で「ムシ歯デー」「愛歯デー」「齲歯デー」などの催しが相次ぎ、日本歯科医師会は文部省、内務省に支援を求め、昭和３年より６月４日を「ムシ歯予防デー」として口腔衛生普及事業を全国的に実施するようになった。

昭和４年の第２回ムシ歯予防デーでは、ポスター、パンフレット、ビラなど約９万枚が全国に配られ、ライオン歯磨小林富次郎の寄付によって、日本歯科医師会名で全国主要紙に内務大臣、文部大臣、社会局長官、血脇守之助、北里柴三郎など各界の意見が掲載された。興味深い内容なのでここに抜粋で紹介する。

「ムシ歯予防デーに臨みて」

日本歯科医師会会長　血脇守之助

日本国民は今、九割までもムシ歯に罹っているのであります。（中略）ムシ歯の病魔は公然と人の生命を脅かすが如き戦いを避けて人の知らぬ間に常に陰謀をたくましゅうし静かに徐に全身の抵抗力を弱め、色々の伝染病に罹り易き素質を作り、胃腸病、呼吸器病、心臓腎臓の病気や、リウマチスなどの諸病を起こすのでありますから、これこそ最も油断ならぬ敵と謂わねばなりません。しかし日本全国の口の中から、ムシ歯という病気を取り除くということは実に国家の大事業でありますので、日本歯科医師会は毎年六月四日を全国的のムシ歯予防デーと定め、その会員であるところの全国道府県歯科医師会をして口腔衛生普及に関する適切な事業を行はしめ、歯の衛生について国民の注意を喚起せん事に力を注いで居ります。（後略）

「先ず病の門戸を守れ」

日本医師会会長男爵　北里柴三郎

（前略）「病は口より入る」という諺は古いが事実はどこまでも事実である。殊に身體の入り口を守る歯がムシ歯になっていたのでは、身體の健康を保ち得られる筈がない。丁度番兵が負傷兵であったり、居眠りをしているようなもので、病魔は易々と身體の中へ侵入して来るものである。ムシ歯になると胃が悪くなり、次いで腸は弱るという消化器の病気は、素人でもうなづかれるが、ルイレキ（頚部リンパ節の結核）やリウマチスの原因がムシ歯から来ることもなかなか多いし、眼や耳や鼻などの近くの器官はもとより心臓や胸にまでいろいろの病気をムシ歯が運び込むということは、一寸想像もつかぬことであろう。その上、歯の健康を除外しては、結核予防を完うすることができないのであるから、この点からもムシ歯予防は我々にとって非常に大切な問題である。（後略）

「ムシ歯予防は国家的事業」

社会局長官　長岡隆一郎

「日本歯科医師会の主催で、全国15,000の歯科医師の方々が一斉に立って国民のムシ歯予防の思想を普及させられることは国民の一員として誠に感謝に堪えない。（中略）ムシ歯は単に歯の病のみに止まらないで、全身に種々なる疾病を誘発して、国民の体力の上に大きな影響を与えるものであることを考えると、経済的の損失と国民体力の損失とは非常に大きなものである。全国民が一致して予防し、駆逐することは国家的大事業であると言わねばならぬ。」

その後約10年間、「ムシ歯予防デー」は日本歯科医師会ならびに全国の歯科医師会において回を重ねるごとに様々な取り組みが考えられ充実した内容となっていく。また、昭和６年には、「学校歯科医および幼稚園歯科医令」が公布され、学校歯科医が正式な身分として認められ学校歯科医の活動がさらに活発になり、ムシ歯予防デーとともに口腔衛生啓発活動が全国的に展開されていった。

昭和14年、ヨーロッパでは英・仏がドイツに宣戦布告し、第二次世界大戦が始まる。すでに日中戦争は泥沼化し、昭和16年日本は米・英に宣戦布告、国民生活は隅々まで戦時一色に塗り替えられていく。日本政府は、国民精神総動員運動の一環として昭和14～17年の毎月１日を「興亜奉公日」と制定した。国旗掲揚、宮城遥拝（皇居の方向に向かって参拝する）、神社参拝、勤労奉仕、などが行われた。

健康な青年はすなわち「戦力」の時代で、政府は５月２日から８日を「健康週間」とし、歯の健康については５月４日を「護歯（ごし）日」（横文字は使えない時代）とした。昭和17年には、皇国民族精神の高揚、出生数増加と結婚の奨励、母子保健の徹底、体力の練成、国民生活の合理化、結核予防及び性病の予防・撲滅を図る「健民運動」の一環として「健民運動ムシ歯予防運動」を５月４日に実施した。そして昭和18年には「ムシ歯予防デー」は戦争のため消滅する、しかしその後昭和24年「口腔衛生週間」として生まれ変わることになる。

「ムシ歯予防デー」～「歯と口の健康週間」名称の変遷

年	名称	月日	継続年
昭和3～13年	むし歯予防デー	6/4	11
昭和14年～16年	護歯日	6/4	3
昭和17年	健民運動ムシ歯予防運動	5/4	1
昭和18～23年	太平洋戦争のため中止		（6）
昭和24～26年	口腔衛生週間	6/1～7	3
昭和27～30年	口腔衛生強調運動	6/4～10	4
昭和31～32年	口腔衛生週間	6/4～10	2
昭和33～平成24年	歯の衛生週間	6/4～10	55
平成25年～	歯と口の健康週間	6/4～10	2＋

【当時のポスターを見ると実に面白い。キャッチコピーの内容は今でも使えるものがある。】

日本歯科医師会健康保険部発行
昭和３年ムシ歯予防デー最初のポスター
「歯強ければ體まで」「歯清ければ心まで」

「強いハは強い體を作る」「ハ弱ければからだまで」
・清くみがけ歯と心・ムシ歯は国民の敵
・きれいな顔よりきれいな歯
・ムシ歯は結核の歓迎門
・病は口からよい歯で防げ
・火事とムシ歯は小さい内に

昭和９年　「お国を守れ、歯を護れ」
日の丸の旗、兵隊さんが右手に鉄砲、
左手に歯ブラシを持って、白い歯を見せている
後援に陸軍省の記載がある

昭和15～16年頃
軍国調が強く感じられる手書きポスター
「国防は健康より」「健康は歯より」
栄ゆる国（君が代の歌詞）歯の磨き方を図示

（神奈川県歯科医師会「歯の博物館」所蔵）

⑵　熊本県歯科医師会では

昭和３年、日本歯科医師会より毎年６月４日を「ムシ歯予防デー」と名づけ、口腔衛生普及運動を行うとの通知を受け熊本県においても大々的に開催された。

第１回ムシ歯予防デーでは、県下150の学校で口腔衛生講演が行われ、自動車隊による宣伝や、健康相談、映画館での活動フィルムによる宣伝や、九州新聞、九日新聞にもムシ歯に関する記事が掲載された。

【第１回ムシ歯予防デーに関し、日本歯科医師会と熊本県衛生課に報告】

１．小中学校での口腔衛生講演会、歯ブラシ教練の実施
２．ラヂオ放送（放送局の都合により中止）
３．ポスター貼付（県下に約900枚）
４．宣伝ビラ（県下に150,000枚）
５．歯科健康相談所設置
６．口腔衛生講演会、展覧会の開催

〈熊本市実施状況〉

１．九州新聞、九日新聞にムシ歯に関する記事を掲載
　・ムシ歯予防宣伝の主意　・ムシ歯の予防　・口腔内のバイ菌　・婦人のう歯　・口腔衛生百文字　・歯科医学における四大家の講話　・治療と予防
２．市内小学校での１時間の口腔衛生講話と歯ブラシ教練
３．ポスター約300枚の貼付
４．宣伝ビラ自動車隊による全市にわたる、ビラ約60,000枚の散布
５．歯科健康相談所の開設（午前９時より午後４時まで熊本市公会堂）
６．市内の活動写真館におけるフィルムにムシ歯予防の標語挿入

〈郡部の状況〉

１．玉名郡は郡内各学校で口腔衛生講話を実施、児童25,000人および郡内製糸７工場約1,000人にビラを配布、ポスター貼付等を行った。
２．球磨郡は、学校での口腔衛生講演、歯ブラシ教練を行い、宣伝ビラ約20,000枚を一般家庭に配布した。
３．その他各郡市でも歯科医師、学校長による講演会を行い（県下150校）、ポスター貼付や宣伝ビラを配布した。

また、日本学校衛生会よりライオン口腔衛生部高麗日出雄（文部省嘱託）を講師として熊本県下各地の小学校での巡回講演ならびにライオン口腔宣伝部の活動写真の開催依頼があり、９月より約１ヶ月にわたり75校を回り、６万６千400余名の児童に口腔衛生啓発が行われた。また本件に関してライオン歯磨小林富次郎より金100円が熊本県歯科医師会に寄付されている。この巡回講演、活動写真会はこの後も続けられる。

【健康週間】

昭和６年熊本県主催で「健康週間」が県衛生課、市衛生課、医師会、歯科医師会、薬剤師会、陸軍官所、赤十字社、その他68団体の総動員をもって開催された。歯科医師会はムシ歯予防デーをこの間に開催することとした。５月26日より６月１日まで、医師会と共同で無料衛生相談所を熊本市中央診療所で行った。また、５月28日には無料歯科診療所を熊本市教育会館内に設置し、簡単な治療及び歯科衛生相談に応じた。郡部における巡回講演、活動写真会は例年通り県下各地の学校や公会堂で開催されている。

【口腔衛生思想普及運動】

昭和６年第７回総会で支部制度が承認され、県下に13の支部が設置された。ムシ歯予防デーの具体策は各支部で行われることとなった。平成７年には６月４日のムシ歯予防デーを実施する前、各支部の協力の中、１月28日～２月30日まで大きな口腔衛生思想普及の運動を行い、学校歯科衛生、学校歯科医設置促進策にも有効な業績を挙げた。各地の小・中学校を午前・午後・夜間の三部に分けて巡回し61の学校で口腔衛生講演会および活動写真会が開催された。

１．講師はライオン口腔衛生部佐藤昌朝氏ならびに学校歯科医
２．講演時間は小学校40分、中学校50分～90分、活動写真は２時間半
３．フィルムは1930年の新作超特撮映画
　㈠　栄冠（野口英世博士一代記）
　㈡　愛歯に燃ゆる心
　㈢　良心のキラメキ

児童生徒と父兄が多数観覧した。また、昭

和６年には「学校歯科医及び幼稚園歯科医令」が公布され、幼稚園、小学校に学校歯科医が正式に置かれた。学校歯科医の活動はこれまで以上に活発になり、ムシ歯予防デーとともに口腔衛生啓発活動を大きく前進させて行った。

その後昭和13年まで「ムシ歯予防デー」は日本歯科医師会や県・市町村行政の支援の中、年々充実した取り組みが県ならびに各郡市で展開されて行った。

引用・参考文献：歯科保健医療小史、日本歯科医師会史、熊本県歯科医師会史、日本と西洋の歯に関する歴史

【教訓】

昭和の初期、私たちの先輩達は「ムシ歯予防デー」に自動車からビラをまき小旗を振って行進し、ラジオや新聞に広報、学校や職場で歯科講話を行った。健康な体は戦力とされ、むし歯を作るなとされた時代である。しかし、不幸にも戦後昭和30年代には12歳児の一人平均むし歯本数は３本、その後むし歯は増え続け、昭和50年には5.7本となりピークに達する。むし歯の洪水時代といわれた頃である。その後むし歯は減り続け、平成26年には１本にまで減少しており、学校健診の場でもカリエスフリーの児童生徒を沢山見かけるようになった。この様なむし歯の運命を先達はどう感じるであろうか。洪水のようにあったむし歯が全国的にどうしてここまで減り続けているのか、一度検証する必要があろう。

100年以上前から叫ばれている「口腔と全身の健康の密接な関係」はエビデンスの積み上げにより、さらに説得力を増している。現在、歯科医師会は「歯周病と全身の健康」をキーワードに多職種による医療連携を進める中で「生きる力を支える生活の医療」としての歯科保健・医療の存在意義を国民に訴えている。しかし、国民の多くに認知されているかというと疑問である。子どもから高齢者まで「歯と口の健康づくりから健康長寿の達成」としての歯科保健・医療の活用は徐々に進んでいるとも言えるが、まだまだ十分に行われていないのが現実ではないだろうか。

昭和３年に始まった「ムシ歯予防デー」は歯科医師の口腔衛生普及への熱い思いの中、官民挙げての一大イベントであった。学校歯科医の活動も検診、指導、教育、診療が家庭・地域を巻き込みながら行われていた。それらを現在に引き継ぐ「歯と口の健康週間」や学校歯科保健・学校歯科医について、その時代と地域に応じた内容とあり方を、私たちは新たに検討する必要があるのではないだろうか。

歯科口腔保健法や歯科保健推進条例の制定に伴い、法的基盤を獲得した現在、行政・議会・専門職・地域住民を巻き込み、地域特性に基づいた効果的な歯科保健施策を展開していく絶好のチャンスなのではないかと考える。我々歯科専門職にはその責務と期待が課せられていることを肝に銘じたい。

（専務理事　渡辺賢治）

歯と口の健康週間ポスター

平成22年度「広げよう『歯（か）む』から始まる健康づくり」

平成26年度「歯と口は健康・元気の源だ」

委員会報告

安心・安全・快適な歯科治療の実現のために！ バイタルサインの理解と全身管理の実際

― バイタルサインセミナー ―

学術

6月14日（日）県歯会館にて長崎大学医歯薬学総合研究科歯科麻酔学の鮎瀬卓郎教授をお招きしてバイタルサインセミナーが開催された。

今回は2年に一度の日本歯科麻酔学会との共催で、講演前後の事前アンケートによる設問の説明とバイタルサインの理解を深めるための助言をいただくため日本歯科麻酔学会地域医療委員会の吉田充広委員（広島大学歯学部）にも同席いただいた。

会場は170名を超える来場者を迎え、浦田会長より挨拶があり鮎瀬教授の講演が始まった。

「チーム医療の重要性」をテーマとして、感染対策・高齢者の注意点・バイタルサイン・在宅医療支援・救急薬剤の理解などを述べられた。

今後の歯科医療の展望は、多職種連携ができる歯科医療サービスに変遷していくと考えられていてその中に感染予防・医療安全・全身管理というkeywordと他の職種とコミュニケーションが取れるいわば共通言語（検査データなどの理解）が重要となる。

・感染制御から感染予防

近年、ゼロ・トレランス（不寛容）という風潮により医療現場では感染をコントロールする感染制御という考えから「まったく感染を認めない」感染予防という考えに取って代わり、従来よりも厳しいものが求められている。歯科の現場では抜歯時のタービンから出る水が滅菌水か否か、あるいは歯科医療従事者の手洗いの徹底が喫緊の課題になっている。

・高齢者の注意点

口腔ケア時の「口腔ケア誤嚥性肺炎」：ケア受療者が完全な含嗽行為ができないことが多く口腔ケア時の唾液や口腔内の残渣汚物の誤嚥による肺炎の発生を危惧する現状やさらに口腔ケアに起因する窒息事故（指サックがちぎれ窒息が原因で死亡事件が起きた）の紹介対策を説明された。成人で気管の内径は16～20㎜という目安を知識として理解しておくことで口腔ケア時に使用する器具の誤嚥や気道閉塞を予防することができる。

170名の来場者で、熱気ある４Ｆホール

・バイタルサイン（呼吸・血圧・脈拍・体温・意識レベル）

バイタルサインから得た情報で事故を重症化させないため（輸液や緊急薬剤の使用・救急車の手配、AEDなど）どれが優先されるかの順番を考えていくべき。近年、医療チームで良好なコミュニケーションをとることで大きくリスク回避できるという医療安全に関するエビデンスに基づき開発されたTeam STEPPS（具体的コミュニケーションスキル）をご紹介いただいた。歯科の分野においても歯科衛生士法の一部改正が行われ【歯科医師の直接の指導に従い】という文言の“直接の”という修飾語が外れ、歯科衛生士がリスクマネジメントにおいて自ら考え主導的役割を果たし貢献することが求められている。

最近のトピックとして、一次救命処置に関して胸骨圧迫を行うことで重大な後遺症を防ぎ生命の維持につなげるということを京都大学の医療安全に関するエビデンスを説明された（ABCからCAB：circle→airway→breath）。

講演後半は、吉田委員により10例題のPre

/Postアンケート講演の中に使われたスライド例も交え聴講者が正しく理解できるように解説が行われた。

続いて、総合討論会では鮎瀬教授・吉田委員・本会の堀川学術委員長の３名にご登壇いただきiPodによりバイタルのモニターをスクリーンに写し、実際に浸麻時に起こった事例を動画音声で提示され処置の方法や処置後の変化を聴講者が疑似体験できるような方法で討論が行われた。

その後、質疑応答に入り、以下のような質問があった。

1．AEDと胸骨圧迫に関して、AEDの診断と通電時間以外は心臓が有効に動いていないと判断できたら胸骨圧迫を行うのが適当。
2．訪問診療時にSPO2が低い患者に対する対処法。まず患者の正常値を把握したうえで低下していくようであれば経過をみる。それ以外に呼吸のパターンなどを観察することも重要でモニターの指標だけで判断はしてはいけない。
3．嚥下機能の低下患者の場合、吸引機により口腔ケアを行っても誤嚥の危険性がある。いきなり清掃というより口腔残渣などのふき取りを行い細菌叢の低減をはかり肺炎の危険性を極力減らして行うことが肝要。
4．エピペンを注射してしまった時の対処など。

最後に、牛島常務理事より謝辞があり盛況のうちに講演は終了した。

（学術　園木　誠）

お知らせ

在宅歯科診療器材整備事業事前説明会

日　時　　平成27年８月20日（木）　午後８時～
場　所　　熊本県歯科医師会館　４階ホール
内　容　　『地域医療介護総合確保基金』を利用した訪問歯科診療器材の補助事業に関して、対象となる器材、各種申請書の記入上の注意事項、器材購入の支払方法等

元日歯会長大久保満男先生・元日歯専務理事村上恵一先生 特別講演会

日　時　　平成27年９月５日（土）　午後４時～午後６時
会　場　　熊本県歯科医師会館　４階ホール
演　題　　『歯科保健・医療・福祉の展望』（仮称）
　　『中央状勢報告』（仮称）

国保報告

新役員決まる

― 第１回臨時組合会 ―

６月27日（土）午後４時30分より県歯会館において、はじめに事務局による点呼が行なわれ、総議員30名中27名の出席により会議の成立を田中議長が宣言し開会された。

――理事長挨拶――

平成27年度の第１回臨時組合会ということで、御出席を賜りました。

本日の議案は、役員の選挙でございますので、慎重審議よろしくお願いいたします。

これは何度も今まで、先生方にお話をしておりますが、国保組合の補助率の問題について、懸案でありました最初は民主党政権の時には、０％を含む32％定率補助の見直しということでありました。今、国会でまだ決定はしておりませんが、議論をされ最終的には決められるであろうと思っております。だいたい13％から32％ということで、案としては落ち着いてきたところです。

内容としては、28年度から５年の年月をかけて徐々にその所得によっての補助率を削減するということであります。

当組合は、今のところ、これは確定ではありませんけども、推定値から予測すると32％補助が28％補助ということで、４％の削減ということにどうもなりそうだというところであります。５年計画でこの４％の削減が進められるということですので、そういう意味では少し将来の計画が立てられるなというところまで来たというところです。

また、これは次回の組合会でまだ最終決定が出ておりませんので、決算ということで提出しますけども、見込みでは、思っていたより支出が少なく済みそうです。そういう意味では、インフルエンザ等が非常に少なかったということで、医療給付等を含めて支出の削減が非常に少なくて済みまして、おおよその当初の計画からいえば、数千万単位の余剰金といいますか、黒字で終わりそうだということであります。

保険料を上げさせていただいたということで、少しゆとりができたというのも事実であり、そういう意味ではしばらくはこの中で運営ができそうだという予測ができておりますので、将来的には４％が削減になった時に、負担の方がどうなるかということも含めて、しっかりと精査しながら組合運営をしていかなければいけないと思っております。今後とも組合の先生方の御協力のもと、しっかりと次期執行部に申し送りをしたいと思いますのでよろしくお願いをして、そしてこの２年間の御協力に感謝を申し上げ挨拶とさせていただきます。

議事録署名人に髙﨑議員（熊本市）、松木議員（天草郡市）が指名され、議題に移り１議案が上程された。

第１号議案：役員改選

新理事

浦田健二（宇土郡市）、上野亮一（八代）、桑田和明（阿蘇郡市）、守永純一（八代）、瀬井知己（熊本市）

新監事

原田秀一郎（菊池郡市）、片山公則（阿蘇郡市）

採決に移り第１号議案は賛成多数により承認可決された。

なお、新理事については７月14日開催の第１回理事会において、理事の互選により、理事長、副理事長、常務理事、理事２名が決定する。

最後に瀬井理事の閉会の辞で散会となった。

（国保組合　守永　純一）

阿蘇郡市歯科医師会

『通常総会及び懇親会を開催』

— 定期総会 —

6月6日（土）阿蘇市の阿蘇プラザホテルにおいて阿蘇郡市通常総会が開催された。

市原会長の任期が6月まで伸びたこと、今年度は2人の新入会員を迎えられた等の挨拶のあと田上副会長を議長に選出し、報告事項として武藤専務より会務報告、甲斐田会計担当常務より会計報告、田代・片山両監事より会計監査報告が行われた。その後議事に入り会計決算、27年度の事業計画、会計予算が承認可決された。その後執行部より提案のあった規約の一部改正、任期満了による会長、監事の改選に関しては次期会長に武藤専務、監事に市原会長が満場一致で可決承認された。

その後片山公則会員より現在の地方情勢、物価などを鑑みて予算の執行への要望があり次期執行部で検討することで了承され今後の歯と口の健康週間事業及び臨時総会の日程等の連絡があり通常総会を終了した。

総会終了後、県歯より浦田会長、渡辺専務理事をお迎えし在宅診療に必要な資金と基金の確保、医療・福祉連携について、日本歯科医師連盟の対応等について現在の状況をお話しいただいた。

全ての議案が可決承認された

その後懇親会に移り河津修司、岩本浩治両県議、宅本郡市医師会副会長、下村郡市薬剤師会会長をお招きして開催され今後の郡市歯科医師会へのご協力等をお願いしながら閉会となった。

（丸野　克之）

八代歯科医師会

『水上新体制スタート』

— 定時総会 —

6月13日（土）午後3時よりセレクトロイヤル八代にて、平成27年度定時総会が開催された。中山専務理事の進行のもと、上田龍吾副会長の開会の挨拶で始まった。続いて議長、副議長が選出された後、中川会長の挨拶があり、任期終了に際しての思いを語られるとともに会員に向け改めて感謝の意を表された。その後、木屋理事より会務報告、熊埜御堂理事より口腔保健センター休日歯科診療報告、続けて中山専務理事より代議員会報告、山口透議員より国保報告が行われ、その後各委員会より報告があり、県や市の各委員会からの連絡事項、報告がなされた。また、八代口腔保健センターでの休日歯科診療について患者さんよりクレームがあったと報告があり、会員全員に診療や患者さんに対する対応について注意を促した。議事に移り、平成27年度の八代歯科医師会収支決算案についての議案が高田理事より説明され、野田監事の会計監査報告後、全会一致で承認可決を得られた。その後、新役員理事・監事の選任、県歯科医師会代議員・予備代議員、国保組合会議員選任、八代歯科医師会選挙管理委員会委員選任に関する件の協議などが行われ、その中で水上正太会員が新会長に任命され、八代歯科医師会の新体制がしっかりと固められた。

任期終了の挨拶をされる中川会長。お疲れ様でした

最後に上野副会長の閉会の挨拶により、総会は無事終了した。

その後の懇親会では、水上新会長の挨拶もあり、八代市長や氷川町町長など多くの来賓の方々を交えて行われた。県歯からは渡辺専務理事が参加され、会員の先生方と親交を深められた。最後は上田忠会員が万歳三唱を行い、上田龍吾前副会長の閉会の挨拶で幕を閉じた。（宮﨑　修一）

郡市会報告

宇土郡市歯科医師会

『総会と懇親会を開催』

― 定期総会 ―

６月13日（土）宇土市「三万石」において宇土郡市歯科医師会通常総会が開催された。
５月24日に逝去された松本文雄会員（享年92歳）への黙祷を行った。
中村進会長より、３期６年の任期を終了し、６月末日にて会長から退くこと、懇親会から宇土市在住の熊本県歯科医師会、澤田事務局長が参加されることなどを挨拶された。
報告に移り今年度の会務報告、県歯代議員会の報告が行われた。
議事に移り、平成26年の収支決算、監査報告、平成27年事業計画、予算案が会員に承認された。中村会長の任期満了に伴う次期会長ならびに幹事の選出が行われ、次期会長に田中栄一副会長が就任されることが承認された。
通常総会が終了したところで、別室に移動し、来賓の熊本県歯科医師会、澤田事務局長にご挨拶を頂いたあと、楽しみにしていた懇親会がようやく開始となった。
中村会長より、菊鹿ワイン赤白の御樽を頂いた。今までの会長任期中の会員への感謝のお気持ちや、次期田中会長への激励されるお気持ち

を参加者一同感じながら一杯目はいただいた。二杯目からは、ワインのおいしさのほうがやや勝り、ただただおいしく、ありがたくいただいた。
「三万石」名物のカウンターでの寿司も堪能し、程よく場が砕けたところで中締め、二次会へ移動となった。
二次会にも澤田事務局長にご参加いただき、一次会に引き続きさらに懇親を深めることができた。

（近藤　俊輔）

上益城郡歯科医師会

『玉置執行部決意新たに３期目スタート』

― 通常総会 ―

６月13日（土）午後５時より、上益城郡嘉島町の「とくなが」にて、会員21名参加の下、上益城郡歯科医師会通常総会が行われた。
梅雨の真っただ中、数日前からの大雨で、「とくなが」に隣接する加瀬川は、濁流と化していたが、総会当日は小康状態を保ち、小雨の降る中、会員は傘をさしての集合となった。
始めに玉置会長から挨拶があった。玉置会長自ら、各医院の受付スタッフの電話対応に苦言を呈して指導された。会員一同身の引き締まる思いで総会はスタートした。
引き続き江藤会員の議長選出が行われ、総会は、会務報告、各委員会報告、議事と粛々と進行していった。
上益城郡歯科医師会の３大イベントと言えば、
１、嘉島町のサントリービール工場に隣接するビアレストランにての各歯科医院の家族従業員レクリエーション
２、嘉島町の熊本イオン・クレアにて行われるヘルＣキャンペーン
３、昨年より日程の都合上、同日開催になった忘年会兼臨時総会
である。清村専務理事より各々日程変更点の詳細な説明があった。
また、玉置会長の３期目続投も承認され、これから２年間玉置執行部・会員一同皆協力して頑張りましょうと、決意を新たに総会は無事終了した。

引き続き、懇親会へと移行した。創業120年を誇る「とくなが」の鰻の会席料理に舌包みを打ち、お酒も進み酔いとともに親睦は深まっていった。最後は山内会員の万歳三唱をもって、懇親会は終了した。
その後は２次会へ移動、ほぼ全員参加となった。また、当日は河端会員の誕生日であり、会員一同からバースデーケーキのプレゼントがあった。一番の盛り上がりとなり、『♪♪ハッピバースデ～』の大合唱となった。普段は口にしない甘いケーキとお酒で、メタボや血糖値（HbA1c）を気にもせず？宵（酔い）は、更けていった。

（工藤　智明）

天草郡市歯科医師会

『６名の会員が、喜寿祝、還暦祝』

― 長寿の会 ―

６月13日（土）「天草市健康フェスタ」が開催された同日、午後６時より天草郡市歯科医師会会員による還暦祝と喜寿祝が、新和荘「海心」にて行われた。

今年喜寿を迎えられるのは以前会長を務められていた青砥忠孝会員、昨年度より宇土郡市より移られ大矢野から欠かさず各会合へ出席して頂いている長山裕子会員、還暦を迎えられるのは山本源治会長、中嶋敬介県歯副会長、残念ながら今回は欠席となられた生田図南会員、荒木浩一会員の計６名。

森口副会長の開会の辞の後、各々の先生方に天草郡市歯科医師会への思い入れや入会時の遠い昔の話などをして頂き、若い世代へのよい継承の機会となった。

お似合いのチャンチャンコ姿

それぞれに紫色や赤色のチャンチャンコを着て後輩、また先輩、御同輩の心のこもった杯を受けられていた。

（槌本亮二郎）

下益城郡歯科医師会

『フッ素洗口事業の効果に期待』

― 通常総会 ―

６月25日（木）午後７時30分より松橋町「四川料理大明天」にて平成26年度下益城郡歯科医師会通常総会が開催された。

開会の辞に続き吉永会長が挨拶の中で、保健所より下益城郡児童の齲蝕罹患率が低下傾向にあるとの報告を受けたと述べられた。「フッ素洗口の結果が出るには早すぎる様であるが…。」と笑いもこぼれながら久々の明るい話題からの開催となった。

また、大規模災害時の連絡網設立に関する会議の予定や、高齢化社会が加速する現代において在宅診療の必要性や、地域への協力のお願い等の話も頂いた。

次に、会計及び監査報告、会計報告があり無事に可決された。続いて来年度事業報告へと進み、主な内容としては健康診断日の決定、宇城三郡市学術会議、宇城健康フェスタ、お口の健康展の日程などについて協議した。

次に各委員会からの報告では、学校歯科委員より中学校でのフッ素洗口開始に向けて始動するとの報告があった。

下益城を支える会員

最後に下益城郡歯科医師会会長、監事候補の承認を求める件では、満場一致の承認を得て、吉永会長の続投となった。

その後は恒例の懇親会へと進み、先日の大雨時の話題となり、どの医院も被害は無かったとの事で安堵の声も聴かれたが、まだ梅雨も半ば、これからも被害がでないことを祈るばかりだ。

（田染　直子）

郡市会報告

熊本市歯科医師会

『宮本格尚会長再任される』

— 定時総会 —

６月25日（木）午後７時30分より、熊本市歯科医師会の定時総会が市会議室にて開催された。

宮本会長より２年間の会務への協力についてのお礼と、大事な会費を預かっているので、本日の会議で決算について忌憚のない意見を言って頂きたいことや、またこの後の協議題についての説明が行われた。

会務、庶務、会計現状報告、監査報告には特に意見もなく、また審議事項においても収入支出決算、監査報告についても全て承認を受けた。

審議事項の最後において、役員選挙について寺本選挙管理委員長より理事候補者の報告が行われ、選挙規則に則り総会において承認され、全員の当選が決定した。

協議では、髙松専務より会費の均等割りと会員種別変更及び支部割り変更について説明が行われた。

これに対して尾上会員より終身会員のメリットについて質問があり、髙松専務より一番大きいのは歯科医師国保に入れることなどの回答があった。

この協議は今後も検討を重ね、会費の均等割りについては次期執行期間内に決定し平成29年４月から施行するということが報告された。

最後に清村会員より市議会での市議のフッ化物洗口問題の対応について問題提議され、これに対して執行部より自民党市議団と協力して対応中だと回答があった。

総会終了直前、別室で理事同士の互選により宮本会長の再任が決定した。瀬井理事が退任し、嶋田理事が新任となった。

新役員は下記のとおりである。

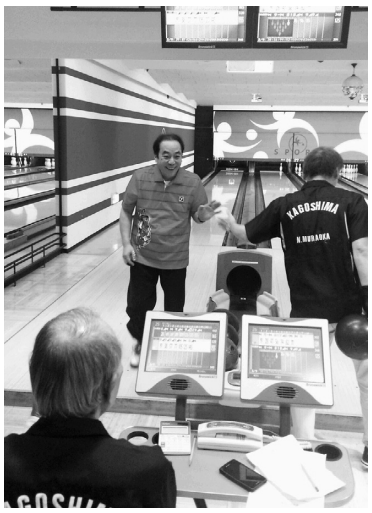
会　　長	宮本　格尚
副 会 長	田中　弥興
副 会 長	渡辺　猛士
専務理事	髙松　尚史
常務理事	古川　猛士
常務理事	小野　秀樹
理　　事	温　　永智
理　　事	渡辺　　洋
理　　事	井手　裕二
理　　事	嶋田　英敏（新任）
理　　事	大塚　昭彦
理　　事	井野　　健
理　　事	有働　秀一
監　　事	稲葉　逸郎
監　　事	蔵田　幸一

（温　　永智）

ボウリング部惜しくも準優勝

― 第28回黒潮杯 ―

6月21日、スポルト熊本において第28回黒潮杯が開催された。九州県南（鹿児島県、宮崎県、熊本県）より全26名の参加選手があり、熊本からは菊竹会員、奥田会員、井尾会員、宮井会員、秋山会員、伊藤会員が参加した。3ゲームごとレーン移動を行い、9ゲームの個人戦で試合を行い、各県の上位5人のスコアの合計により総合優勝を決定した。



個人戦では井尾治雄会員が2位に入賞するなど健闘した。総合では宮崎県が優勝、熊本県は2位、鹿児島県が3位という結果となった。

九州県南より全26名の参加

大会の前日には熊本市内にて懇親会も開かれ大いに盛り上がったが、その疲れも見せず、レベルの高い大会となった。

熊本県歯科医師会ボウリング部も練習を積み重ね各大会でも楽しく、また成績を残せるように精進していければと思う。

（伊藤　延隆）

新入会員 NEW

①今もっとも関心のあることは何ですか。
②自分が希望する歯科診療とはどのようなものですか。
③他の歯科医院にはない自分の医院の特色を教えてください。
④今後の抱負は何ですか。

第1種会員

竹下　修二
（タケシタ　シュウジ）

菊池郡菊陽町武蔵ヶ丘北
1-10-39
たけした歯科

①歯科保存分野及び予防歯科
②最後まで歯が保存できる歯科診療
③特にございません。
　基本をしっかりこなせる医院を目指しています。
④一日も早く地域に根ざした診療所を構築すべく努力します。

会務報告

自　平成27年６月４日
至　平成27年６月28日

所管	日付	摘要	出席
総務	６月５日	役員等選挙・監事・日歯代議員・日歯予備代議員立候補届出受付締切	
		会計打合せ	八木常務理事
		第６回選挙管理委員会	三隅委員長他全委員、三苫予備委員
	６日	阿蘇郡市歯会通常総会懇親会（阿蘇プラザホテル）	浦田会長、渡辺専務理事
	８日	本会事業・会計監査 平成26年度事業・決算監査	久々山・西野監事、浦田会長、中嶋副会長、渡辺専務理事、八木常務理事
		第25回理事会 【承認事項】（１）リハビリテーション・ケア合同研究大会神戸2015の演者募集 （２）関係機関・団体からの役員等の推薦依頼（３）名義後援使用依頼　ほか 【議　　題】（１）日本歯周病学会臨床研修会 （２）平成26年度一般社団法人熊本県歯科医師会会計決算（案） （３）定時代議員会の運営並びに日程資料　ほか	浦田会長他全役員、伊藤学院長
	10日	役員等選挙　候補者辞退期限	
		職員人事評価打合会	渡辺専務理事、八木・牛島常務理事
	12日	役員・各委員会委員合同会議（KKRホテル熊本）	浦田会長他114名
	13日	宇土郡市歯会通常総会（宇土市）	八木常務理事、澤田事務局長
		八代歯会定時総会懇親会（セレクトロイヤル八代）	浦田会長
		県薬剤師会第80回通常代議員総会（ホテルメルパルク熊本）	小島副会長
	15日	肥後医育振興会定時評議員会（KKRホテル熊本）	浦田会長
	16日	故吉良直衛会員叙位伝達式	浦田会長
		中川博公会員叙勲伝達式	浦田会長
		第47回常務理事会 （１）平成27年度早産予防対策事業（２）名義後援使用依頼 （３）平成27年度第１回臨時代議員会の日程・報告・議事　ほか	浦田会長他常務理事以上全役員
	17日	メディア㈱社長との面談（東京）	浦田会長、小島副会長、椿理事
	18日	第179回日歯定時代議員会（１日目）（日歯会館）	浦田会長、小島副会長、椿理事
	19日	第179回日歯定時代議員会（２日目）（日歯会館）	浦田会長、小島副会長、椿理事
	20日	第７回選挙管理委員会	三隅委員長他全委員
		定時代議員会〔役員等選挙〕 【議　　事】第１号～第４号議案 【協　　議】（１）時局対策	中村議長、市原副議長他全議員、浦田会長他全役員
		第１回臨時理事会 （１）会長（代表理事）及び業務執行理事の選定	浦田会長他全役員
		大阿蘇会定時総会懇親会（ホテル日航熊本）	伊藤学院長
	21日	第９会社会歯科学研究会総会・公開研究集会（東京歯科大学水道橋校舎）	浦田会長、田上常務理事
	23日	県総合保健センター臨時理事会（熊本テルサ）	浦田会長
	24日	新役員打合会 （１）第２回理事会の運営 （２）退職役員、代議員会議長・副議長、代議員、委員会委員の表彰者 （３）県議会議員との懇談会の出席者　ほか	浦田会長他常務理事以上全役員
	26日	月次監査 ５月末会計現況監査	久々山・西野監事
	27日	第29回県警察医会総会（熊本ニュースカイホテル）	牛島常務理事
学術	６月14日	安全な歯科医療を提供するためのバイタルセミナー 受講者：170名 講師：鮎瀬卓郎教授（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科歯科麻酔学分野）	浦田会長、牛島常務理事、井上理事、堀川委員長他３委員
社会保険	６月５日	レセプトチェックセンター（荒尾市） 相談者：２名	田中理事
	６日	社会保険委員会 （１）会員向け発行物（２）指導立会者・個別相談会日程 （３）次期委員会への申し送り事項	中嶋副会長、田中・椿理事、清水委員長他13委員
	11日	保険個別指導（KKRホテル熊本）	橋本副委員長、反後・井口委員
	25日	保険集団的個別指導（KKRホテル熊本）	中嶋副会長
地域保健	６月７日	歯と口の健康週間「歯の祭典」 （１）くまもと歯の健康文化賞表彰式（２）高齢者よい歯のコンクール表彰式 （３）図画・ポスター・習字・標語作品入賞者表彰式　参加者：220名	浦田会長、宮坂副会長、渡辺専務理事、八木・田上常務理事、大林・加藤理事他10委員
広報	６月４日	NHKテレメッセ出演（NHK熊本放送局）	加藤理事
	16日	広報委員会 （１）会報７月号・編集	加藤理事、佐藤委員長他全委員
	20日	定時代議員会取材	岩崎・坂田委員
	23日	広報小委員会 （１）会報７月号・第１回校正	竹下理事、岩崎委員長他４委員

所管	日付	摘要	出席
学校歯科	6月5日	県学校保健会第1回理事会（県医師会館）	宮坂副会長
	18日	県ＰＴＡ共済審査委員会（県総合福祉センター）	西野監事
	19日	県学校保健会定時評議員会（熊本交通センターホテル）	大林理事、河原委員長
	19日	県学校保健会臨時理事会（熊本交通センターホテル）	宮坂副会長
	22日	サンスター株式会社との打合せ	宮坂副会長、渡辺専務理事、大林理事、河原委員長
	23日	歯及び口腔の健康づくり指導（水俣市立水俣第一小学校） （1）小中学校フッ化物洗口合同説明会	永田会員
	26日	歯及び口腔の健康づくり指導（宇城市役所） （1）「フッ化物洗口実施」説明会	東田会員
医療対策	6月19日	医療対策委員会 （1）事例報告検討（2）郡市医療相談担当者（3）委員提出協議題　ほか	冨屋理事、岡田委員長他全委員
	26日	医療対策小委員会 （1）各郡市歯科医師会医療相談担当者会議報告・協議事項の打合わせ（2）医療相談	冨屋理事、岡田委員長他2委員
センター・介護	5日	県老人クラブ連合会第1回健康・生きがいづくり支援事業推進委員会（県総合福祉センター）	宮坂副会長
	14日	日本老年歯科医学会支部長会（パシフィコ横浜）	松本理事
	22日	介護支援専門員更新研修（KKRホテル熊本）	松岡委員
	24日	委託事業、後期高齢者医療制度打ち合わせ （1）平成27年度在宅歯科医療推進事業案（2）各郡市担当者会議	田上常務理事、松本理事
総務・厚生・医療管理	6月16日	県がん診療連携協議会第24回相談支援・情報連携部会（熊大医学部附属病院）	牛島常務理事
	17日	総務・厚生・医療管理委員会 （1）医療管理だより（2）引継ぎ	牛島常務理事、池嶋委員長他5委員
学　院	6月4日	第2回学院教務委員会	伊藤学院長他6名
国保組合	6月4日	県組合地区国保運営協議会	浦田理事長、上野副理事長、桑田常務理事、澤田事務局長他1名
	11日	全協通常総会（リーガロイヤルホテル大阪）	浦田理事長
	22日	国保組合監査	原田・片山監事、浦田理事長、桑田常務理事
	22日	第2回国保理事会 （1）平成26年度決算（2）平成27年度補正予算（案） （3）平成27年度臨時組合会日程　ほか	浦田理事長他全役員、田中議長、犬束副議長
	23日	全協事務（局）長研修会（東京・全国町村会館）	田尻課長補佐
	27日	第1回国保臨時組合会（1）役員改選	議員27名、浦田理事長他全役員

「全寮制」で医・歯学部現役合格

知力が先伸びする秀明教育

News 2016年4月　秀明中学校「スーパーイングリッシュコース」が新設
多様な「海外留学制度」と「ネィティブによるＨＲや授業」でグローバル時代に対応できる英語力をつけます。

学校見学会／個別相談会

本校ＨＰ、お電話よりお申し込みください。

各回とも13：00～

中 学 校 … 9月 6日(日)・11月 8日(日)

高等学校 … 10月17日(土)・11月21日(土)・12月12日(土)

創立以来の輝かしい合格実績

医学部				歯学部			
大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数
東京大学理科Ⅲ類	3	慶應義塾大学	3	北海道大学	2	日本歯科大学・生命歯、新潟歯	192
北海道大学	3	自治医科大学	2	東北大学	1	昭和大学	61
東北大学	5	産業医科大学	2	九州大学	2	愛知学院大学	15
名古屋大学	3	日本医科大学	37	東京医科歯科大学	6	大阪歯科大学	18
大阪大学	1	東京慈恵会医科大学	21	新潟大学	3	北海道医療大学	42
九州大学	1	順天堂大学	54	岡山大学	1	岩手医科大学	36
東京医科歯科大学	1	昭和大学	63	広島大学	2	奥羽大学	103
千葉大学	7	日本大学	73	徳島大学	1	明海大学	157
筑波大学	2	東京医科大学	57	長崎大学	2	神奈川歯科大学	83
群馬大学	5	東邦大学	85	鹿児島大学	2	鶴見大学	90
新潟大学	6	東京女子医科大学	14	九州歯科大学	4	松本歯科大学	82
防衛医科大学校	10	獨協医科大学	133	東京歯科大学	73	朝日大学	34
上記以外、国公立 18 大学 69 名、私立 17 大学 808 名				日本大学・歯、松戸歯	140	福岡歯科大学	2

※数字は1982年～2015年度の延べ人数※順不同

学校法人　秀 明 学 園　**学校や寮の見学は随時可能です。**入試室までお問合せください。

秀明中学・高等学校

〒350-1175　埼玉県川越市笠幡4792　☎**049-232-3311**(入試室直通)　http://www.shumei.ac.jp　秀明学園　検索

会員専用グループ保険のご案内

随時加入募集中!!

グループ保険　Ⅰ 団体定期保険　Ⅱ 新医療保障保険団体型

Ⅰ 団体定期保険

充実した保障内容
合理的な 死亡保障 の確保に！

最高3000万円の保障（無診査）が70才まで新設されました

保険金額の増減は毎年自由に変更できます

① 割安な保険料で高額保障
災害に起因する死亡の場合は、災害保険金が上乗せされます

② 最高75歳まで継続更新可能

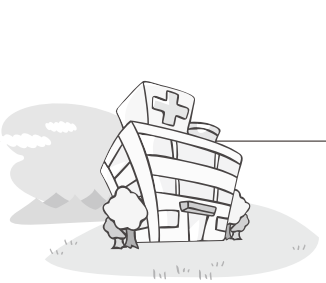
③ 障害給付金・高度障害保険金も準備されます

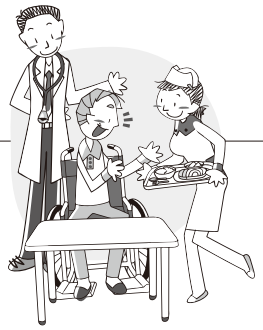
35年以上の長期にわたり、熊本県歯科医師会で会員のために継続している福利厚生制度です。

随時加入できます

Ⅱ 新医療保障保険団体型

ニーズの高い病気入院の保障が
低価格で プラスできます！





① 疾病・傷害、いずれも保障の対象！

② 入院給付金は１日目からお支払します

③ 1入院60日限度　通算1,000日分まで保障

本人プランは入院1日15,000円まで保障

④ 最高89歳まで継続更新可能

⑤ 配偶者・お子様もご加入可能

この保険は当グループ内で１年ごとに収支計算を行ない **剰余金が生じたときは配当金として加入者全員に還元**しています。

お問い合わせ

熊本県歯科医師会 事務局　担当：奥村　TEL096-343-8020

Kumamoto Prefecture Dentistry Medical Association Report
August 2015 No.711

笑顔ヘルC 8020 歯からはじめる

9 主な行事予定 September

2日(水)	第4回常務理事会
5日(土)	第1回各郡市会長・専務理事連絡会議
12日(土)	ケイ・デー・エム・ユー相続対策セミナー
16日(水)	第5回常務理事会
25日(金)	第5回理事会
26日(土)	シニア倶楽部

熊本県ご当地よ坊さん

熊本県歯科医師会
安心・安全歯科医療推進制度

編集後記

女子サッカーのワールドカップがカナダで開催されました。時差の関係で、早朝より診療開始時間までテレビの前で熱い応援を送られた方も多かったと思います。なでしこJAPANは前哨戦でなかなか勝てず、今大会はダメかと思っていましたが、連覇は果たせなかったものの、準優勝という素晴らしい結果を残し、日本の女性の底力を感じました。

話は変わりますが、先日サザンオールスターズの福岡「ヤフオク」ドームコンサートへ行ってきました。小学生から70歳代まで幅広い年齢層のお客さんが集まり、高校生の時に訳の分からん歌「勝手にシンドバット」ふざけているのか?と感じてから早37年。リーダーの桑田さんは確かアラ還だったはずです。

数年前には食道がんを告知ししばらく活動休止していたし、どんな感じなのだろうと思っていましたが、流石プロですね。ノンストップで3時間半超えのライブとなりました。

陰では体を鍛えているのだろうと感じ、やはり日々精進、気持ちの問題、座席はスタンドの上の方でしたが、ゆっくり座ってビールにから揚げ、締めは日本酒(さすがにアリーナ席では不可だったようです)。私自身はお気楽モードで揉み手交じりの拍手、立ち上がることなく最後まで着座、その横で家内とその友達3人づれは立ち上がり歓声を上げ、体を揺すっておりました。彼女たちもきっと体を鍛えていたのかもしれません??身近にも強い「大和なでしこ」がいました。 (K・T)

■発行日／2015年8月5日発行 ■発行人／浦田 健二
■発行所／一般社団法人 熊本県歯科医師会
〒860-0863 熊本市中央区坪井2丁目4番15号
TEL／096-343-8020 FAX／096-343-0623
URL／http://www.kuma8020.com
■印刷所／コロニー印刷